

若者等活動事務所利活用検討会(令和元年度第3回)結果報告

日時 令和元年12月25日(水) 17時00分～18時45分

場所 高山市役所 4階中会議室

出席者 検討会メンバー7名、事務局(企画課)2名

内容

1. 開会あいさつ

2. 報告事項

(1) 運営方針(概要)について

(2) 愛称募集について

(3) スタッフ募集について

■施設看板への愛称揮毫について <質疑> メ:検討メンバー、事:事務局

事:類似した市施設の看板を揮毫した市内高校書道部の顧問による監修のもと、部員である生徒に愛称を揮毫してもらうことを考えているが、このことについてご意見を伺いたい

メ:対応できるかは別として、書道部のある他校へも声をかけた方が平等性から良いのでは

メ:残るもので名誉あることのため理解できるが、複数校が手を挙げた場合、その先、どのように決めるかが難しい

事:縦書きと横書きの2種類を考えており、2校から手が上がった場合は、それぞれお願いすることは考えられる

メ:飛騨地区校長会で各校に声をかけ、手が上がったところで調整していくことは考えられる。高校生に書いてもらうことの是非については、議論いただきたい

メ:高校生が親近感を持つ施設を目指すならば、高校生と協働で看板を作ることは良いことと感じる

メ:高校生が書くよりも、それが誰とは明言できないが高校生が憧れる人が書いた方が、親近感を持つことに繋がるのではないかと

メ:木の板に太い筆で書くのか。技術面や様々なリスクがあるのではないかと

事:習字紙に筆で書いたものをデータ化し、無垢板に機械で印刻された部分に黒色塗料が入る仕上がりになる

メ:板へ直接書くならば難しいと思ったが、理解した。高校生だからどうこうというよりは、出来上がったものが建物に相応しくなるかどうかの方が重要と感じる

メ:高校生に任せて大丈夫かと少し不安になる部分もあるが、大会にも出て指導者もしっかりとしてみえるであろうから、任せればできると思う。高校生が憧れるような相応しい方が他にみえれば、その方でも良いと考える

メ:看板の題字は合作という訳にはいかないため、個人へのプレッシャーはかかることとなる

メ:市内の方で、日展で最高賞を取られた方に頼むとすれば、選考基準としては分かり易い

メ:まちの博物館と体験交流館は、当該書道部顧問に書いてもらったが、揮毫した者について疑義を言われたことはない。こういう施設に高校生の字が残るということは、夢があって良い事と感じる。一方で、揮毫者となった高校生個人への批判や妬みのようなものが及ばないよう、市として十分配慮する必要があると考える

メ:一定の配慮は必要だが、高校生が書いてくれたら嬉しいと感じる

メ:若者等活動事務所として、高校生を出来るだけ巻き込んでいくというスタンスを持つことはあるべきと考える

メ:当該書道部顧問は、日展作家という実力もさることながら、郷土館で働いていた経験もあるため、揮

毫者としての理由付けができた面もある

メ:高山陣屋の看板の揮毫者は、市内の別の日展作家と承知している。高校生に書いてもらおうとしたら、特別な賞を受賞したとか、理由付けがあると良いと思う

メ:作品を公募する方法も考えられる

メ:看板は建物を代表する物なので、高校生ではなく、しっかりとした方に書いてもらった方が良いと感じる

メ:守れる体制が取れるならば別として、高校生本人が傷つけられる可能性があるならば、頼まない方が良い

メ:施設の中で、高校生の手による作品が様々に使われることは良いが、看板は少し重荷になるかもしれない

メ:揮毫者を〇〇高校書道部までとし、顧問による監修のもと高校生が書きましたで留めておけば、高校生個人を守れるのではないかと

メ:秋に実施した高校生フェスでは、高校書道部にプログラムの題字を同じように書いてもらった。その際も、他の高校にも声をかけたが、受け取ってもらえなかった経緯がある

メ:誰に書いてもらいたいのか、高校生に公募することはできないか。武田早雲氏が来たことがあったが、ワークショップ形式で看板も書いてもらってはどうか

メ:書道家は大勢みえるため、沢山の人の希望が出された時にどうか

事:外から人を呼ぶということに対し、十分な期間も残されていない点も心配する

メ:飛騨地区校長会において、非公式な形で各校に打診し、他に希望する学校があれば対応について協議し、なければ事務局提案の形で進めていくことは可能と考える

メ:高校生に頼みたいという気持ちも分かるが、自分が店に看板をかけるとなると公募はせず、しっかりとした方をお願いする

メ:ダムの題字を中学生に書いてもらった例もあるなか、若者の施設になぜ若者が携わらないのかと逆の指摘を受ける可能性もある

メ:書道部に所属していないが書道をしている子もいるため、配慮してもらいたい

メ:どの位の大きさなのか

事:無垢板の看板自体が縦 50 cm×横 70 cmで、そこに施設の説明文や平面図も入るため、愛称部分は、一文字につき握りこぶし程度の大きさを想定している

メ:そんなに小さなものか。もっと大きなサイズで単独の看板を想像していた

事:はじめにしっかりとした説明をせず、申し訳なかった

メ:大々的にやるような話でなく、著名人をお願いしては、逆に申し訳ないのではと感じてきた

メ:愛称には文字数の制限はあるのか

事:制限は設けていない。文字の大きさやレイアウトは、愛称の字数に応じて調整することができる

メ:縦書きも横書きも、その程度のサイズか

事:縦書きのものは、スタッフが身に着けるユニホーム等に入れること等を考えている

メ:書いてもらうのはロゴなのか

事:ロゴと愛称の揮毫は別。ロゴは簡易なものをいったん作ることを検討しているほか、本格的なものは、来年度、高校生らとワークショップ等を開催して作るということも想定している

事:その程度の看板の題字という話であれば、高校にお願いするという事で進めさせてもらうので、了解願いたい

メ:各メンバー了承

3. 協議事項

(1) 目的内利用等について <質疑> メ:検討メンバー、事:事務局

■利用者の範囲、利用者登録について

メ:事前登録の対象者は

事:市内の若者個人、団体に申込書を出してもらい、登録証を出すこと等を考えている

メ:若者の年齢は、30歳などで制限することは考えているのか

事:自らを若者と捉えている限り、年齢で線を引くことは考えていない

メ:これだけの施設なので年齢を広げないともったいないと感じる一方で、昼間は高齢者のための施設になってしまうのはどうなのかと思う

メ:勤労青少年ホームでは登録者は30歳までという制限があるため、高齢者等は対象外とするならば、年齢の線引きがあった方が分かり易いと感じる

事:文化の伝承という目的もあり、高齢の方の参加も欠かせないため、年齢による線は引きたくないと考えている

メ:そうすると、使用を認めない活動に高齢者等に対象を限定した活動があることに違和感がある

事:例えば、高齢者健康教室をこの施設で行うことがどうか。高齢の方でも、いつまでも若くありたいと集まって活動されることは認めて行きたいが、そのことで若者が利用できなくなってしまうのは違うと考えている

メ:であれば、使用を認めない活動に高齢者等に対象を限定した活動とあるのは削除し、予約受付期間の長短の差を設けるなど、運用で対応すれば良いと考える

事:表現を含めて検討させてもらう

■不登校児の居場所づくりについて

メ:直接的な表現は見当たらないが、不登校の高校生など特別な配慮が必要な子のための居場所づくりは考えているのか

メ:不登校で家から出にくく人と接したくない子が、公共の場へ出て一人で過ごすということは、なかなか難しいことと想定されるが、そういったメッセージを施設に取り入れてもらえば、活きる例が出てくるかもしれない

事:不登校の子を対象とした活動ではなく、色々な活動が行われていることを不登校の子にも伝えることで、一歩踏み出す機会となるのが望ましいのではないかと

メ:知らない子の所にいきなり入っていくことは難しいため、昼間に一人で来て、お茶を飲んでスタッフと話をしあって、社会とのつながりを持ってもらうといったことも良いのでは。そういうことは資料からは読み取れないが、想定しているのか

メ:施設ではなく、ケアして受け入れてくれる人が居るかどうかの問題。そういった人を配置せずに場所だけを作ることは違うと考える

メ:施設スタッフにケアができるか、専門機関との情報のやり取りができるかなどを考えると、実際難しい

メ:高校生や若者の出入りする施設には来られないため、別に作る必要があるのではないかと

メ:普通にしている中に、どう不登校の子たちも呼び込むかが重要となるため、明記しない方が望ましいのでは

メ:接点のある人や支援者に、ここでの取組みを情報発信し続ける関係を築くことをすべきではないかと

事:この施設に、であい塾の高校生版のような機能を持たせることは難しいと考えるため、自然に出てきてくれるような使い方を進めるようにし、資料には明示しないようにしたい

■高山祭関係での建物の使用について

メ:飲酒の境目が、きちんと引けると良いと考える

事:祭の時の使用イメージはどのようか

メ:毎月のお囃子の練習では、大人はお酒も飲みながら、子どもも加わって様々な話をしながら行っている。高山祭本番では、祭道具や台車を屋台蔵から出して2週間程度置かせてもらうほか、ミセの間で当番飾りを行いたい

事:祭当日の飲酒はあるのか

メ:両晩とも屋台蔵の前が基本。雨が降った場合、室内でさせてもらえばありがたい

メ:社会のなか、地域のなかで子ども達が育つということは非常に大切なことと考えている。祭礼行事関係団体以外からの飲酒の申出時に、きちんと線が引ければ良いと思う

事:うまく線引きができるように考えていきたい

■その他

メ:占用する場合に、事前登録→記名で OK となっている部分は違うのではないかと

事:そのとおりのため精査する

メ:減免と一部減免の差はなにか

事:公有財産の貸付料算定要領を参照しており、産業系の団体は減免率が低い例にならったもの

メ:施設に特別な設備や対応を必要とする活動とは、大掛かりな舞台装置等を持ってきては駄目という意味か

事:利用者で自己完結できる行為を認めないものではなく、施設側に何か求められても対応できませんという意味

メ:当たり前の話なので、記載する必要はないのでは

事:そのようにする

メ:学校の異なる高校生が、この場所で共存できるのかどうか

メ:ひだっこプロジェクト等の活動をしている学生は、様々な高校から参加している

事:同じ中学校の繋がりなどから、高校は離れても仲良くしている子達もある

メ:自転車は置けるのか

事:敷地内に若干の他は、煥章館または市役所の駐輪場の利用を想定している

メ:体験交流館の広場の差し掛けの下は、自転車を置けるようにしているので、使ってもらって差し支えない

メ:主屋でどんなことができるのか、次回、話し合えれば良いと思う。例えばお茶会など

事:こういったものはどうなのかと言ってもらえればありがたい

4. その他

事:利活用検討会に、高山市文化協会からのメンバーを追加してはどうかとの提案があったため、ご意見を伺いたい

メ:文化の継承という話が出たが、文化協会には色々な方面での知識や経験を持った方が集まっているため、加わってもらった方が、多くの方に使ってもらったり多方面での利用に繋がるのではないかと

メ:文化協会は、松本家などの指定管理者も受けてみえるため、連携などの観点も考えられる

メ:特に若者に文化を伝承していくことを進めてもらいたい

事:特定の方の想定はあるのか

メ:想定はしていない

メ:特に異論なし

事:先方の意向確認も含めて、事務局で対応を検討させてもらおう

5. 閉会あいさつ

長時間に渡る議論に感謝

目的内利用等については、資料内容を見ていただき、次回、ご意見をいただきたい

以上